建設経済常任委員会

平成29年9月15日（金曜日）

付議事件

《付託議案》

議案第 9号 平成29年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項

出席委員（7名）

委員長	宮澤芳雄	副委員長	磯本繁
委員	滑川公英	委員	向後悦世
委員	林七巳	委員	飯嶋正利
委員	宮内保		

欠席委員（なし）

委員外出席者（2名）

議長	佐久間茂樹	議員	米本弥一郎
----	-------	----	-------

説明のため出席した者（15名）

副市長	加瀬正彦	商工観光課長	向後嘉弘
農水産課長	宮負賢治	建設課長	加瀬喜弘
都市整備課長	鵜之沢隆	下水道課長	高野和彦
水道課長	加瀬宏之	農業委員会 農事務局長	相澤薫
その他担当 職員	7名		

事務局職員出席者（3名）

事務局長	大矢淳	事務局次長	花澤義広
副主幹	黒柳雅弘		

開会 午前10時 0分

○委員長（宮澤芳雄） おはようございます。

爽やかな秋晴れであります。しかしながら、台風18号が、連休中本州を直撃しそうだという事で、大変心配であります。きょう、油を売りに来た農家の方に被害が心配ですねと言ったら、キャベツ植えたばかりだけれども、苗が飛んじやうぐらいはいいと、家が吹っ飛ばされなければいいやと、それだけ近年の台風の異常な被害といいましようか、台風の規模の大きさというのには本当に苦慮するところ、心配であります。委員各位にも、ひとつ健康に十分留意して、最終日まで頑張っていたいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

ここで、委員会を開会する前に、あらかじめご了承願ひます。

議会日より取材のため、この後、職員が委員会室内の写真撮影を行いますので、ご了承願ひます。

ただいまの出席委員は7名、委員会は成立いたしました。

それでは、建設経済常任委員会を開会いたします。

ここで、米本弥一郎議員より、本委員会を傍聴したい旨の申し出があり、これを許可いたしましたので、ご了解をお願ひいたします。

本日、佐久間議長にご出席をいただいておりますので、ご挨拶をお願ひいたします。

○議長（佐久間茂樹） おはようございます。委員の皆さん、大変ご苦労さまでございます。

本日は、一般会計補正予算の1議案について審査をしていただくことになっております。どうぞ、慎重なるご審議をお願ひいたしまして、簡単ではございますけれども、挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○委員長（宮澤芳雄） ありがとうございます。

議案説明のため、副市長、担当課長及び職員の出席を求めました。

それでは、執行部を代表して、加瀬副市長よりご挨拶をお願ひいたします。

加瀬副市長。

○副市長（加瀬正彦） おはようございます。本日は建設経済常任委員会の開催、大変ご苦労さまでございます。

本日の委員会に審議をお願ひいたします議案、ただいま議長のご挨拶にもありましたとおり、議案第9号、平成29年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち、建設経済常任委

員会の所管事項の1案件でございます。執行部といたしましては、委員の皆様方からのご質問に対しまして、簡潔、明瞭に答弁するよう努めてまいります。何とぞ可決くださいますようお願い申し上げます。簡単ではございますがご挨拶といたします。よろしくお願いたします。

○委員長（宮澤芳雄） ありがとうございます。

議案の説明、質疑

○委員長（宮澤芳雄） ただいまから本委員会に付託されました議案の審査を行います。

去る9月5日の本会議におきまして、本委員会に付託されました議案は、議案第9号、平成29年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての1議案であります。

それでは、議案第9号中の所管事項について補足説明がありましたらお願いいたします。農水産課長。

○農水産課長（宮負賢治） 議案第9号、平成29年度旭市一般会計補正予算の議決について農水産課所管の補足説明を申し上げます。

補正予算書の10ページをお願いします。

歳出からご説明いたします。

6款1項4目畜産振興費、説明欄1のさわやか畜産総合展開事業の276万円は、家畜排せつ物の有効利用を目的とした補助事業です。

具体的には、堆肥利用の促進に関する機械として、多機能堆肥散布車1台の導入に対する補助です。事業主体は、肉牛を生産する1戸の認定農業者で、補助対象事業費の920万円に対して、県が20%、市が10%、合わせて276万円を補助するものです。

次に、歳入ですが、補正予算書の7ページをお願いいたします。

14款2項3目農林水産業費県補助金、説明欄1のさわやか畜産総合展開事業費補助金ですが、これは、ただいま歳出でご説明いたしました県の補助金で、対象事業費の20%、184万円を計上したものでございます。

以上で、議案第9号、農水産課所管の補足説明を終わりにさせていただきます。よろしくお願いたします。

○委員長（宮澤芳雄） 担当課の説明は終わりました。

議案第9号について質疑がありましたらお願いいたします。

磯本繁委員。

○委員（磯本 繁） さわやか畜産総合展開事業の採択の要件についてお尋ねいたします。

それと、多機能というんですか、これは散布車、どのようなものかお尋ねいたします。

それと3番目、なぜ9月議会の補正があるのか、理由をお聞きいたします。

○委員長（宮澤芳雄） 磯本繁委員の質疑に対し、答弁を求めます。

農水産課長。

○農水産課長（宮負賢治） まず、採択要件の関係です。まず、事業を簡単に説明させていただきますと、この事業は、家畜排せつ物の有効利用を目的とした堆肥化施設及び汚水浄化施設

の機能向上や堆肥利用の促進に関する機械等の整備、または脱臭設備等の周辺環境整備を行う場合に支援されるものです。

採択要件につきましては、堆肥の利用が拡大し、資源循環の取り組みを促進することが見込まれ、かつ利用形態が3戸以上の共同利用または1戸の認定農業者となります。

なお、補助対象の上限事業費ですけれども、上限は5,000万円となります。

それから、多機能散布車についてですけれども、多機能散布車は、まずベースが2トンの4WDのトラックを改造しまして、荷台に堆肥を散布する機械を取りつけたもので、畑を走りながら車の後ろから堆肥を散布することができます。散布能力ですけれども、積載した堆肥を5分程度で散布することができます。

それから、3つ目の補正の理由なんですけれども、この時期の補正理由ということで、さわやか畜産総合展開事業につきましては、昨年7月に行った事業実施調査においては実施希望がありませんでしたので、当初予算には計上しませんでした。本年3月に県より追加要望調査がありまして、再度、畜産農家に意向を確認したところ、1件の肉牛生産者が実施したいということでした。早速県と協議を行いましたところ、事業採択の見込みとなりましたので、本定例会において補正予算をお願いするものでございます。

以上です。

○委員長（宮澤芳雄） ありがとうございます。

ほかに質疑ありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（宮澤芳雄） 特にないようですので、議案第9号の質疑を終わります。

以上で、付託議案についての質疑は終わりました。

議案の採決

○委員長（宮澤芳雄） これより、討論を省略して議案の採決をいたします。

議案第9号、平成29年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○委員長（宮澤芳雄） 全員賛成。

よって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（宮澤芳雄） ご異議ないようでございますので、委員長報告は委員長一任とさせていただきます。

所管事項の報告

○委員長（宮澤芳雄） 次に、所管事項の報告に入ります。

報告がある所管課は、随時報告をしてください。

農水産課長。

○農水産課長（宮負賢治） 農水産課から株式会社千葉県食肉公社の第22期事業報告書及び第23期事業計画書について報告をさせていただきます。

資料のほうは、右上に農水産課、第22期事業報告書及び第23期事業計画書と書かれたこの資料になります。

初めに、この資料を建設経済常任委員会で報告させていただく経緯について申し上げます。

株式会社千葉県食肉公社は、日本政策金融公庫から借り入れがありまして、その損失補償

を市が行っているため、地方自治法の規定に基づき、平成27年度までは、毎年9月の定例議会で経営状況を報告しておりましたが、借入金の返済が進み、旭市が損失補償する額が公社の資本金7億2,000万円の2分の1未満となりまして、議会へ報告義務がなくなりましたので、昨年度より本委員会で経営状況を報告させていただいております。

それでは、お手元の資料の1ページをご覧ください。

Iの事業報告ですが、平成28年度の屠畜数は、大動物の牛が1万4,292頭で、昨年より631頭減少し、前年比95.8%です。この減少理由は、全国的な繁殖農家、酪農家の減少により、肉用牛の素畜となる市場に出荷される子牛が減少しているとのこととです。

小動物の豚は42万4,004頭で、前年より7,071頭増加し、前年比101.7%です。この増加理由は、枝肉相場が高値で推移したことと見られます。枝肉販売実績は、牛が3,496頭で、前年より12頭減少し、前年比99.7%で、豚は19万268頭で、前年より2万1,277頭増加し、前年比112.6%となっております。

次に、IIの貸借対照表は説明を省略させていただきまして、収支につきまして、隣の2ページのほうのIIIの損益計算書でご説明いたします。

まず、収入となります売上高の合計は、107億4,580万9,000円で、これから費用となります売上原価や期末商品棚卸高を差し引きますと、中段にありますように、売上総利益金額は2億9,645万3,000円となります。これから販売費と一般管理費を差し引いた営業利益は4,398万6,000円で、一番下にあります税引き後の当期純利益は2,243万1,000円となっております。

続きまして、3ページをご覧ください。

IVの第23期事業計画です。(1)の屠畜頭数計画ですが、平成29年度計画は、牛が1万3,200頭で、前年比92.4%、豚は42万4,000頭で、前年比100%となっております。

次に、(2)の販売頭数計画ですが、平成29年度計画は、牛の枝肉が2,580頭で、前年比73.8%、豚の枝肉は18万4,000頭で、前年比96.7%となっております。

なお、牛の屠畜数や販売頭数の減少理由は、先ほど前期の実績でも申し上げましたが、子牛の出荷の減少によるもので、引き続き減少傾向にあるとのこととです。

続きまして、4ページをご覧ください。

平成29年度の収支計画で、本年度も効率的な経営と一般管理費の削減等に努めることとしまして、表の一番下にありますように、当期純利益を1,006万4,000円と見込んでおります。

なお、市が行っている損失補償に係る借入金は、当初32億6,600万円でしたが、平成28年

度までに30億5,982万円余りの元金を返済し、計画どおり着実に償還しております。その結果、平成29年3月31日現在、借入金の元金は2億617万円余りとなっております。借入金の最終返済期日は、平成30年9月の予定でございます。

以上で、株式会社千葉県食肉公社の第22期事業報告書及び第23期事業計画書についての報告を終わります。

○委員長（宮澤芳雄） 都市整備課長。

○都市整備課長（鶴之沢 隆） それでは、都市整備課所管の報告事項を申し上げます。

市役所新庁舎の建設に伴いまして旭都市計画公園の変更が必要となることから、9月4日、旭市都市計画審議会による審議を行いました。審議の内容は、旭文化の杜公園の一部が新庁舎の建設用地として約1ヘクタール減少することから、現庁舎跡地を天神公園として約0.7ヘクタール、矢指地区に整備中の築山施設を日の出山公園として約1.1ヘクタール加えて、計画の変更を行うものです。審議の結果、原案のとおり答申することについて委員全員の賛成をいただきました。

今後の予定としましては、当審議会の結果を千葉県に報告し、協議の上、告示・関係図書の縦覧を経て、計画が決定されるということになります。

以上で、都市整備課所管の報告を終わります。

○委員長（宮澤芳雄） 水道課長。

○水道課長（加瀬宏之） 水道課からは、海上配水池の耐震補強工事について報告をさせていただきます。

平成27年、28年度に継続事業といたしまして進めてまいりました海上配水場の増池工事が本年3月に完了したことにより、本年度施工を予定しております海上配水場耐震補強工事の一般競争入札を8月8日に行い、3社の応札がございました。最低入札価格となる鈴木建設株式会社の提示した金額が予定価格の範囲内となり、また、最低制限価格を満たしておりましたので、同社と8月17日付で契約を締結いたしました。

契約の内容につきましては、まず、工事名、海上配水池耐震補強工事。工事場所ですが、これは旭市蛇園になります。契約金額は9,687万6,000円、工期は平成29年8月18日から平成30年3月15日となります。契約の相手方は、先ほどご説明しました鈴木建設株式会社となります。

以上で、報告を終わります。

○委員長（宮澤芳雄） 担当課の報告は終わりました。

ここで、委員長より委員各位に報告があります。

初めに報告のありました千葉県食肉公社第22期事業報告及び23期事業計画、これにつきましては、担当課長より説明がありましたとおり、議会への報告義務はございません。しかしながら、担当課長より私のほうに、この委員会、直属の担当委員会ですので、ここでは説明をさせていただきたいということですので、報告とさせていただきたいと思います。質問はなしということをお願いさせていただきます。

あと、都市整備課と水道課についてご質問がありましたらお願いいたします。

林七巳委員。

○委員（林 七巳） 文化の杜公園のところに市庁舎を建てるところなのですが、あそこはもと田んぼであって、石綿管が埋設されていると思うんですが、その処理はどのように。今、国では石綿管は全部取って、適正処理していきやならない、そういう工事は入っているんですか。そういう情報というのは持っているのか。

あそこを公園にする時に、石綿管のあれは撤去しないで、そのまま埋め立てして、工事したと思うのですよね。その時に、それから道路を挟んで向こう側に田んぼがありますから、そっち側がまたその管が使っていると思うんですけれどもね。

○委員長（宮澤芳雄） 林七巳委員の質疑に対し、答弁を求めます。

農水産課長。

○農水産課長（宮負賢治） 現在、公園になっている場所の地下に埋設されている部分というのは、ちょっと私そこまでは把握はできておりません。ただ、それよりも、公園よりさらに西側のほうの地区につきましては、地元の農家組合が今後石綿管を塩ビ管に取り替える工事をやりたいということで、今、県と協議を行っております。

以上です。

○委員長（宮澤芳雄） 林七巳委員。

○委員（林 七巳） あれ工事、基礎工事する時には、その石綿管が出てくると思うんですよね。それは、今度は旭市独自でその石綿管の、だから、あそこにももと田んぼだったんですから、全部石綿管入っていると思うんですよ。

その構造をよく調べて撤去しなければ、だから結局今ある公園は、もう1回全て掘り起こしてやらなきゃならないと思いますよ。また、工事、大工事になりますと、よくその辺考えさせてください。お願いいたします。

○委員長（宮澤芳雄） 林七巳委員の質疑に対し、答弁を求めます。

都市整備課長。

○都市整備課長（鵜之沢 隆） 建設予定地の1ヘクタールの部分、工事が始まれば、当然掘るといふことになると思うんですが、その部分に農業用の用水用のパイプラインがあったという話は、ちょっと聞いてはおります。

一部、撤去したという話も、ちょっと確認、聞いた記憶はございますけれども、どちらにしましても、その工事の対象区域になる部分については、どういうふうに建設時に処理したかというのを確認の上、農水産課のほうともよく調整をさせていただきたいなというふうには思っております。

以上です。

○委員長（宮澤芳雄） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（宮澤芳雄） 特にないようですので、所管事項の報告を終わります。

○委員長（宮澤芳雄） 以上をもちまして、本委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前10時24分

旭市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

旭市議会建設経済常任委員会委員長 宮澤芳雄